

無縫 No.69

発行 一般財団法人 田澤記念館
 住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地
 発行責任者 平野重徳・小池幸照
 発行所 鹿島印刷株式会社
 発行日 2016年10月1日

田澤義鋪心酔者・杉谷雅博(唐泉山房)さん洋書(田澤蔵書)との格闘



杉谷雅博氏 佐賀県藤津郡(現・嬉野市)塩田町大字谷所生まれ。
 1968年佐賀県立鹿島高等学校卒業。
 1975年九州大学文学部哲学科卒業。

田澤義鋪心酔者である杉谷雅博氏は彼のホームページ(唐泉山房)のなかで、2015年3月から176回(9月14日現在)田澤義鋪についてアップしている。昨年、環境整備中であった田澤記念館にも何回も来館し、資料を見たり館長と話をしたりしているなかで、何か協力できる事があればと申し出があった。そこで、手つかずであった洋書の整理をお願いしたところ、快く引き受けられたが、ここから辞書片手の格闘が始まった。その作業ぶりは…



今日は田澤記念館にある田澤蔵書のなかの洋書の整理をした。前から、時間があつたらやってみたくて館長に約束していたものだ。書物は田澤が国際労働会議(1922年)参加と会議後、諸国を遊学した折に買いもつめたものがほとんど。大きな段ボール2箱分あり、今日は1/3にあたる17冊分をリスト化した。

エクセルで表を作る。書名を入れ、その仮訳、著者、出版年、価格などを書き込んでいく。なかなか進まない。片時も辞書が手離せないのに加え、アルバムの整理と同じく、「ハマ」ってしまうのだ。つい、内容が気になり、書き込みがおろそかになる。



リストを作りながら、内心思っていたことが現実味を帯びてきた。田澤は日本で政治を語るに際して、彼独自の方法を使っていたのではないかとことだ。

蔵書を見ても、政治、宗教、芸術と幅が広い。彼は国際会議と洋行で第一次世界大戦後の世界を知ることができた。だから、彼はその広い知識と見聞をもとに、国際的な視野から日本をみていることになる。明治以来の「富国強兵」「殖産興業」路線の上に敷かれた内なる「立憲主義」と外への「帝国主義」の危うさを十分に感じていたはずである。

一回目の格闘篇(ホームページより)2016.7.6

うなぎ・エビ・ハゼ 獲れた。! 食べた。! 有明海体験研修

『棚じぶ体験』



8月7日(日)ガタリンピック公園(道の駅鹿島)で、棚じぶ体験を行った。体験をとおして①仲間づくり ②自分の事は自分で ③有明海を知る ④食育を目的に活動した。講師として昔成区前区長 中島直道氏と川浪良輔氏(鹿島小講師)を招き、有明海について学びながら、採れたエビを生で食べたりして、大変興奮した一時を過ごした。奇跡的に40cm程度の天然うなぎが2匹も捕れこれには驚かされた。全て初めての体験で子供たちの目は光輝いていた。



『うなぎ塚・潟遊び』



棚じぶ体験後、潮が引いた潟で、地下たびに履き替え、うなぎ塚を開けた。少年クラブの父親や祖母、講師の息子さんたちに協力してもらい、大きな石をとり除いて網の中の魚やエビやカニを獲った。棚じぶやうなぎ塚で獲れた、ハゼやエビやカニを素揚げで食べた。獲れたて揚げたてを海辺で食べる体験も初めてで、ハゼは「おいしい・おいしい」と頭から骨まで全て食べてしまっていた。その後、講師の中島直道氏からテッポウエビを潟の中から探す課題がでて、少年クラブ員は濁まみれになりながら探し回り、暑い中自然と触れあった。最後に獲ったうなぎを蒲焼きにして、全員で食べた。食べた。



『感想』

中原 夕梨…しゃべったことが無い人としゃべったりして触れあう事ができた。
 田古里芽伊…エビを生で、うなぎ蒲焼きは頭まで食べることができた。
 宮田 七海…協力してうなぎがとれて食べることができた。楽しい一日でした。
 水沼 桃…親方(講師)に生のエビの食べ方を教えてもらい、怖かったけど食べたら海の栄養がたくさん詰まっていて、甘くておいしかった。潟での冒険もおもしろかった。



青年教育への 最初の一步 ~ユースカレッジの活動~

28年度鹿島市役所様や市内の5企業(東亜工機(株)・鹿島機械工業(株)・祐徳自動車(株)・森鉄工(株))様のご協力で21名のユースカレッジ生が研修に励んでいる。年齢も18歳から41歳と幅広く、考え方も様々な集まりで、これからの日本を支えていく指針となりうる田澤精神を学んでいく。平野会長をはじめとするいろんな分野の講師陣から話を聞く事で「故郷を錦で」飾ってくれるように人間的にも向上してもらいたいと願っている。



受講生代表の決意表明



まずはじめに、「ユースカレッジ」とは何かと調べたところ、研修を通じて視野を広げ、自己の任務遂行にさらなる責任感と意欲をもたせることを狙いとし、「田澤精神の学習」「職場における社会人のあり方」を身に付けることができる素晴らしい研修と知りました。

本日集まった研修生は今年の4月から新社会人となった方、すでに社会人としての経験を積まれて新天地で迎えた方など様々であると思いますが、私たち若者が、これから鹿島を拠点として活動をしていかなければなりません。

現在、日本を取り巻く環境は日々刻々と変化しており、私たち若者はその変化に対応する力を身に付けることが不可欠です。そして、先日起きた熊本地震のような「もしも」のことが起きた時の対応力も重要になってきます。

田澤先生は、青年教育について「画一主義や注入主義を払拭し、自由創造の精神をもって青年には自ら考えさせ、自ら修養させ向上させるべき」という持論があり、自己を磨き自己を成長させるのは、結局は自身による修養しかないという事を、愛情を持って気づかせることが教育者の使命としての精神であることを伺っています。

田澤先生が説かれた道義の精神を理解し、自ら考え行動することによって自身を成長させ、今後の日々の生活の基盤にできるよう学びたいと思います。

また、本日からのユースカレッジという素晴らしい機会、知り合えた同期の仲間との交流を大切に、今後の人生の糧と出来るよう努めていきます。頭を柔軟にして、受講生一同、仲良く楽しく学んで、多くのことを吸収していきたいと思っております。

本日、熱意のある方々と一緒に学ぶ機会を与えられたことに感謝し、将来の鹿島市においてリーダーシップを発揮できる人間になるべく、日々精進することを近い決意表明の挨拶といたします。

鹿島市役所 一ノ瀬慶太

記念館の環境整備充実

◇階段の手すり



階段に手すりができました。鹿島史談会や田澤洋裁教室に参加される方々から「よかった」「上がりやすくなった」「安心して上がれる」との言葉を頂いている。

◇プロジェクター・スクリーン



講義・講演には市役所や小学校から借りていました。いつもスムーズに、プレゼンテーションできるようになりました。

◇看板設置



正門に看板を設置した。生誕地、資料展示等の説明があり、入館者も激増しました。

平成28年後半 田澤記念館の主な行事予定

9月23日～24日 ユースカレッジ(宿泊研修)
30日 鹿島高校講演(田澤義鋪に学ぶ)
田澤料理教室
田澤洋裁教室(8日、29日)
10月 2日 田澤少年クラブ(事前指導)
8日～9日 田澤少年クラブ(宿泊研修)
18日 ユースカレッジ(館内研修)
20日 中間監査
21日 田澤料理教室
出前講座 田澤義鋪学習会
(11日 鹿島小)
田澤洋裁教室(13日、27日)

11月 6日 田澤少年クラブ七浦ウォークラリー
12日 田澤少年クラブ赤い羽根街頭募金活動
18日 田澤料理教室
22日 ユースカレッジ(多久聖廟)
出前講座 田澤義鋪学習会
(9日 七浦小、21日 浜小)
田澤洋裁教室(10日、24日)
12月 1日 鹿島実校講演(田澤義鋪に学ぶ)
14日 ユースカレッジ(海上自衛隊)
16日 田澤料理教室
18日 田澤少年クラブ(発酵食品体験)
田澤洋裁教室(8日、22日)